

令和4年度【第5期】事業報告（案）

I 事業方針

2015年に第3回国連防災世界会議で仙台防災枠組が策定されて以来、世界では防災の機運がこれまでになく高まっていますが、未だに相次ぐ大災害の発生を食い止めることには成功していません。地球温暖化に伴う気候変動の影響はすでに顕在化し、今後更に災害リスクが高まる恐れもある中、解決のための具体的な適応策の実施はもはや待ったなしの状況となってきています。

一般財団法人世界防災フォーラムは、東日本大震災や世界の大災害からの経験や教訓をもとに、産官学民での防災のソリューションの追求や国際的な共有を目的とし、防災(BOSAI)という概念の薄い国や地域に対し、防災・減災・復興の考え方を世界各国の政策や社会・文化に浸透させる事業を行ってまいります。そして、この事業を通して仙台防災枠組、パリ協定、持続可能な開発目標 (SDGs)の達成や実施のために貢献してまいります。

II 個別事業

1. 公益事業

(1)情報発信事業

【WBF2023 開催準備 2023年3月10日～12日開催予定】

世界防災フォーラムは、スイスの防災ダボス会議と連携し、専門家だけでなく国内外から産・官・学・民の防災関係者が広く集まる仙台発の市民国際フォーラムです。東日本大震災の知見の共有や、防災の具体的な解決策について議論し、「BOSAI」の取り組みを世界に広げ、「仙台防災枠組 2015-2030」を推進してまいります。特に2023年は同枠組の中間の年となる重要な年です。事務局セッションとして、仙台市や UNDP と連携し、仙台防災枠組に関する取り組みを発表する計画です。

また、今回は、特に、民間セクター・女性・若年層の参加を促すよう企画や参加方法に関し工夫してまいります。さらに、統合的・学際的なテーマで議論し、参加者どうしの交流の促進を重視します。

多くの方に参加いただけるよう、防災を職業としていない市民や学生は無償でセッション参加可能にしたり、アジア防災会議、仙台国際未来フォーラムなど関連イベントとの連携強化、周知のために仙台市と連携し WBF 2023 のプロモーションを実施(仙台 SDGs Week)するなど、準備段階から今までにない取り組みを実施しました。

【World BOSAI Walk Tohoku +10 後半 2022 年 4 月 8 日～23 日実施】

ウォークの後半として、4 月 8 日(南三陸)から 4 月 23 日(八戸)まで走破しました。前半のビーチを中心とした海岸線から、後半は荒々しいリアス式の変化に富んだ海岸線を進みました。

震災の被害も、前半は津波と原子力災害といった複合的な災害が被害を拡大した側面がありました。一方、後半は前例のない高さの津波により多くの方が犠牲となってしまいました。釜石や普代村など、過去から度々津波の被害を受けている人たちの学びや伝承なども学ぶことができました。WBF2023 で多くの方に前半含めたウォーク全体の成果をご覧になっていただきたいと考えております。

【世界防災関連博物館のネットワーク構築事業】

博物館は市民が防災を身近に感じることができる施設として重要な意味を持っています。しかし、現状では世界の博物館リストや、博物館同士のネットワークすら存在していないのが実情です。まずは「World Bosai Walk Tohoku+10」で培った東北沿岸部の震災博物館や伝承館の方々から趣旨についてはご賛同いただきました。

(2)調査研究事業

【GDB 運営支援事業】

防災・減災・復興の考え方を世界各国の政策や社会・文化に浸透させるためには、災害が経済に与える影響を、わかりやすい形で示す必要があります。仙台防災枠組のグローバルターゲット達成のために、東北大学災害科学国際研究所災害統計グローバル統計センターの活動を支援しました。

GDB 運営にかかる民間企業とのパートナーシップの強化など、財団の強みを活かして本事業に対する貢献を今後も継続してまいります。

【途上国の災害リスクの軽減プロジェクト(バングラデッシュのトルネード災害の軽減)】

東北大学災害科学国際研究所が実施するバングラデッシュ突風被害災害軽減プロジェクト(支援:ウェザーニューズ財団)に小野代表理事・坂本副事務局長が参画いたしました。

7 月 20 日に実施されたワークショップでは、産官学民連携として現地の国・防災担当者、大学、NGO、地域住民が一同に介し、突風被害に対する対策を議論しました。

今後もバングラデッシュの気象庁、バングラデッシュ防災センター、世界風工学会等と連携し、ICT を駆使したトルネードの警報システムの導入と、住民が命を守ることを可能にするトルネード・シェルターの普及を目指したプロジェクトに取り組んでまいります。

2. 収益事業

今年度は収益事業を行っておりません。

以 上